

幕末

時代の波濤と高槻

【会 場】高槻市立しろあと歴史館

【開館時間】10:00~17:00(入館は16:30まで)

【休 館 日】月曜日〔11/23(祝)は開館〕、
11/4(水)、11/24(火)

【観 覧 料】一般200円 高大生100円 中学生以下無料
※関西文化の日〔11/14(土)・15(日)〕は無料

【主催】高槻市 【協力】NPO法人高槻市文化財スタッフの会

【後援】公益社団法人高槻市観光協会 歴史街道推進協議会

令和8年

10月17日(土)~12月13日(日)

高槻市立しろあと歴史館

TAKATSUKISHIROATO
HISTORICAL MUSEUM

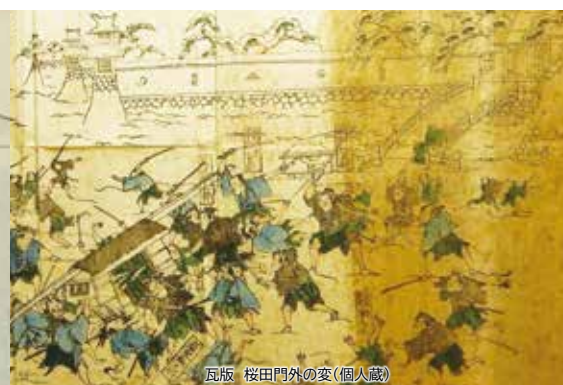
〒569-0075 大阪府高槻市城内町1番7号 ☎072-673-3987



大塩平八郎像(大阪城天守閣蔵)



亞米利加バレル上陸圖より蒸気船(京都府立京都学・歴史館蔵)



瓦版 桜田門外の変(個人蔵)



坂本龍馬献上写真(霊山歴史館蔵)



新選組袖章(霊山歴史館蔵)



重要文化財 大工頭中井家関係資料のうち 摂州嶋上郡上牧村関門千分一之図
(中井正知氏・正純氏蔵 大阪市立住まいのミュージアム寄託 撮影 京極寛)



最後の高槻藩主・永井直諒像(当館蔵)

観覧無料

高槻市立今城塚古代歴史館 企画展「ハニワのふるさと—新池遺跡—」

令和8年10月17日(土)~令和9年2月14日(日) 会場:今城塚古代歴史館(高槻市郡家新町48番8号)

幕末時代の波濤と高槻

「幕末」—江戸時代末期は、国内の経済の悪化、外国船の来航、そして政治的混乱などによる内憂外患の時代でした。京・大坂の中間で、譜代大名永井家が治めた高槻は、幕末の数多くの出来事に関係しています。

大坂を揺るがした大塩平八郎の乱では、鎮庄に向かう高槻藩士には大塩と交友がある者もいました。外国船の来航により海防が必要となるなか、摂津の海岸には台場が次々と築かれ、淀川沿いの高槻にも梶原台場が設けられ京の防衛にあたりました。幕末の情勢下、高槻藩は京や淀川対岸・枚方の警護を任せられ、王政復古の号令直前には長州藩の上洛に対応するため高槻城に籠城しました。

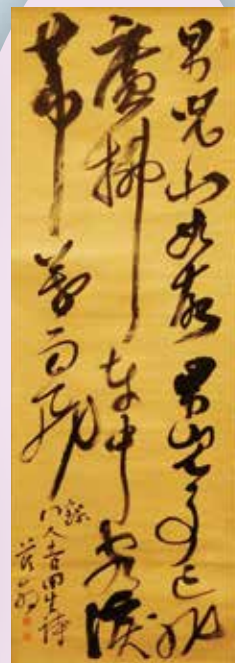
本展では、日本史の一大転換点である「幕末」の出来事を伝える絵図や古文書、錦絵などを通じて、時代の波濤がうずまく高槻の姿を紹介します。

第一章 動揺する上方



大塩平八郎から高槻藩士・藤井竹外へ宛てた書状（大阪歴史博物館蔵）

第二章 開国と混乱



森田節斎が弟子・吉田松陰の漢詩を書き記した書（五條市教育委員会蔵）

第三章 海防へのまなざし



将軍・徳川家茂が上洛のため軍艦で大坂に入港する様子を描いた錦絵（大阪府立中之島図書館蔵）

第四章 鳥羽伏見の戦いへ



鳥羽伏見の戦いの様子が描かれた瓦版（京都市歴史資料館蔵）

連続講演会 「幕末史の現在」

講師：中村 武生 氏

（NPO法人京都歴史地理同考会理事長）

①「新選組局長近藤勇」

日時：11月22日（日）午後2時～午後3時30分

②「坂本龍馬殺害」

日時：12月 6日（日）午後2時～午後3時30分

会場：高槻市教育会館（高槻市城内町1番5号）

受講料：300円（全2回分）定員120名

申込方法：事前申込（～11月8日）多数抽選

①往復はがきに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入して当館宛に郵送

②高槻市簡易電子申込

③当館受付窓口にて申込用紙記入

学芸員講座 「幕末と高槻」

講師：しろあと歴史館学芸員

①「江戸時代後期の高槻永井家」

日時：11月 6日（金）午前10時30分～正午

②「慶応三年の高槻籠城」

日時：11月20日（金）午前10時30分～正午

③「新発見書簡から考える 幕末期藤井竹外の動向」

日時：12月 4日（金）午前10時30分～正午

会場：高槻市教育会館（高槻市城内町1番5号）

受講料：無料

申込不要：定員120名（当日先着）

※受付開始は10時から



■交通 阪急高槻市駅から徒歩約10分
JR高槻駅から徒歩約15分

※ご来館には、環境にやさしい
公共交通機関をご利用ください

高槻市立 しろあと歴史館
TAKATSUKISHIROATO
HISTORICAL MUSEUM

〒569-0075 大阪府高槻市城内町1番7号

☎ 072-673-3987

<https://www.city.takatsuki.osaka.jp/site/history/list9.html>